

問1 物価が上がり続け、景気が過熱している「インフレーション」の懸念がある場合、日本銀行が行う「公開市場操作」の内容とその目的として、正しい組み合わせはどれですか。（2021年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 日本銀行が国債を売り、銀行から資金を回収することで、通貨の量を減らし物価の安定を図る。 | 2. 日本銀行が国債を買い、銀行へ資金を供給することで、通貨の量を増やし物価の安定を図る。 | 3. 日本銀行が国債の利子率を直接引き下げ、企業の設備投資を促すことで生産量を増やす。 | 4. 日本銀行が政府に対して国債を発行させ、その資金で市場の製品を買い占めて物価を下げる。 |
|--|---|---|---|

問2 日本銀行が「売りオペレーション」を行った際に、市場の金利や経済活動に与える影響として正しい組み合わせはどれですか。（2022年 静岡公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 市場の通貨量が減少し、金利が上昇することで、企業や家計の資金借入が抑制される。 | 2. 市場の通貨量が増加し、金利が低下することで、企業や家計の資金借入が活発になる。 | 3. 市場の通貨量が減少し、金利が低下することで、物価の下落がさらに加速する。 | 4. 市場の通貨量が増加し、金利が上昇することで、輸出企業の国際競争力が高まる。 |
|--|--|---|--|

問3 家計が銀行に預金をして受け取る利子を「利子A」、家計が銀行から資金を借りて銀行に支払う利子を「利子B」としたとき、銀行が利益を得て経営を成り立たせるために取られている一般的な手法として、最も適切なものはどれですか。（2025年 京都公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------------|
| 1. 利子Bの利率を、利子Aの利率よりも高く設定する。 | 2. 利子Bの利率を、利子Aの利率よりも低く設定する。 | 3. 利子Aと利子Bの利率を、常に同じ数値に設定する。 | 4. 家計から預かった預金を、すべて無利子で他の家計に貸し出す。 |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------------|

問4 景気動向に基づいた日本銀行の金融政策の表において、「不景気の際の操作」として示される内容とその目的の組み合わせとして、正しいものはどれですか。（2020年 福島県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 日本銀行が国債を買い入れる。これにより銀行の資金が増え、金利が低下して消費や投資が刺激される。 | 2. 日本銀行が国債を買い入れる。これにより銀行の資金が減り、物価の上昇を抑えて家計を助ける。 | 3. 日本銀行が国債を売り出す。これにより市場の通貨が増え、公共事業のための資金が確保される。 | 4. 日本銀行が国債を売り出す。これにより金利が上昇し、国民の貯蓄意欲を高めて将来の備えを増やす。 |
|--|---|---|---|

問5 日本の中央銀行である日本銀行は、民間銀行などの金融機関との間で取引を行うことから「銀行の銀行」と呼ばれます。この役割に基づく業務内容として、最も適切なものはどれですか。（2023年 鹿児島県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|--|
| 1. 一般の銀行に対して資金の貸し出しを行ったり、預金の受け入れを行ったりする。 | 2. 一般の家計から預金を預かり、住宅ローンや教育ローンの貸し出しを行う。 | 3. 全国の企業から直接預金を集め、新工場の建設などの設備投資資金を融資する。 | 4. 倒産の恐れがある民間企業に対し、政府に代わって直接的な経営支援を行う。 |
|--|---------------------------------------|---|--|

問6 景気や物価の安定を図るため、中央銀行である日本銀行が、市場を流れる通貨の量や金利を調整する取り組みを何と呼びますか。（2020年 山形公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|------------|-----------|
| 1. 金融政策 | 2. 財政政策 | 3. 所得再分配政策 | 4. 経済成長戦略 |
|---------|---------|------------|-----------|

問7 不況の際、日本銀行は景気を刺激するために、一般の銀行などの金融機関が持っている国債を買い入れる操作を行います。この操作が金融市場に与える影響と目的として、最も適切な説明はどれですか。（2016年 鳥取公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|--------------------------------------|
| 1. 金融機関が持つ資金を増やし、企業や個人への貸し出しを促すことで、景気の回復を図る。 | 2. 金融機関から資金を吸い上げ、通貨の流通量を抑えることで、物価の急激な上昇を抑制する。 | 3. 日本銀行が直接企業に資金を貸し出し、設備投資を促進させることで、失業者の減少を図る。 | 4. 政府の歳入を増やすために国債を現金化し、公共事業の予算を確保する。 |
|--|---|---|--------------------------------------|

問8 企業が事業を行うために必要な資金を調達する仕組みのうち、銀行などの金融機関が貸し手と借り手のなかだちとなり、資金を融通する仕組みを何と呼びますか。（2021年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 直接金融 | 2. 間接金融 | 3. 市場経済 | 4. 信用創造 |
|---------|---------|---------|---------|

問9 日本の金融システムにおける「間接金融」の説明として、資金の流れや特徴を正しく述べているものはどれですか。（2026年 北海道公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 金融機関が仲介役となり、預金者から集めた資金を必要とする企業へ貸し出す。 | 2. 企業が株式や社債を発行し、証券市場を通じて投資家から直接資金を調達する。 | 3. 日本銀行が景気調整のために、民間金融機関との間で国債などを売買する。 | 4. 政府が税金を主な財源として、公共事業などの公共サービスを提供する。 |
|---|---|---------------------------------------|--------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 日本銀行が国債を売り、銀行から資金を回収することで、通貨の量を減らし物価の安定を図る。	景気が過熱し物価が上昇しすぎるのを防ぐため、日本銀行は所有する国債を一般の銀行に売る「売りオペレーション」を実施します。銀行は国債の代金を支払うため、手元の現金が減少します。これにより世の中に出回る通貨の量が減少し、借り入れの利息（金利）が上昇するため、過度な投資や消費が抑えられ、物価の安定につながります。利子率（金利）は日本銀行が直接決めるのではなく、通貨の量の増減を通じて市場で変動する仕組みです。
問2	答え 1 市場の通貨量が減少し、金利が上昇することで、企業や家計の資金借入が抑制される。	売りオペレーションによって民間銀行の資金が日本銀行に吸収されると、銀行が貸し出しに回せるお金が少なくなります。希少となった資金の「価格」にあたる金利は上昇し、高い金利を嫌って企業や家計はお金を借りにくくなります。これにより、消費や投資といった経済活動が落ち着き、物価の上昇を抑える方向に働きます。
問3	答え 1 利子Bの利率を、利子Aの利率よりも高く設定する。	銀行は、多くの家計から集めた「預金」を、資金を必要とする家計や企業に「貸し出し」しています。この際、貸し出す側から受け取る利子（利子B）を、預金者に支払う利子（利子A）よりも高く設定することで、その差額（利ざや）を銀行の運営費用や利益に充てるという仕組みになっています。
問4	答え 1 日本銀行が国債を買い入れる。これにより銀行の資金が増え、金利が低下して消費や投資が刺激される。	不景気の際に行われる買いオペレーションの目的は、民間銀行が持つ資金を増やし、金利を低下させることにあります。金利が下がれば、企業は設備投資のための資金を借りやすくなり、個人も住宅ローンなどを組みやすくなるため、社会全体の消費や投資が活発になり、景気の回復が期待されます。
問5	答え 1 一般の銀行に対して資金の貸し出しを行ったり、預金の受け入れを行ったりする。	日本銀行は私たち個人（家計）や一般の企業が口座を作って預金をしたり、融資を受けたりすることはできません。あくまで民間銀行などの金融機関を相手に資金の貸し出しや預金の受け入れを行うため、「銀行の銀行」と呼ばれます。選択肢にあるような個人や企業への直接的な金融サービスは、普通銀行などの役割です。
問6	答え 1 金融政策	日本銀行が通貨の番人として、経済状況に応じて通貨の供給量（マネタリーベース）をコントロールすることを指します。政府が予算を通じて行う「財政政策」と混同しないよう注意が必要です。
問7	答え 1 金融機関が持つ資金を増やし、企業や個人への貸し出しを促すことで、景気の回復を図る。	景気が悪い不況のとき、日本銀行は「買いオペレーション（買いオペ）」を実施します。日本銀行が金融機関から国債を買い取ることで、その代金が金融機関へと支払われます。これにより、金融機関が貸し出しに回せる資金（通貨量）が増え、金利が下がることで企業や個人が資金を借りやすくなり、経済活動の活性化が期待されます。
問8	答え 2 間接金融	家計などの貸し手と、企業などの借り手の間に、銀行などの金融機関が介在して資金をやり取りする仕組みを指します。金融機関がリスクを負って資金を管理し、なかだちとして機能することが特徴です。
問9	答え 1 金融機関が仲介役となり、預金者から集めた資金を必要とする企業へ貸し出す。	間接金融は、銀行などの金融機関が「仲介者」として機能することが最大の特徴です。預金者は銀行に資金を預け、銀行はその資金をまとめて企業などに貸し出します。これに対し、企業が証券市場で株式などを発行して投資家から直接資金を得る仕組みは「直接金融」と呼ばれます。